

キャリアアッププログラム2024（3学期）講座シラバス

【ベーシック科目】

科目名	伝わる話し方の基礎	
副題	表現豊かに話すコツとは	
受講対象者	主に、人前で話す機会がある人、テレビやラジオで話す仕事をしたい人、話すことが苦手な人。	
講座概要	アナウンスメントの基礎となる、呼吸・発声・発音の仕組みを理論的に学んだ上で、様々な種類の原稿を読んでいきます。その中で、アクセントや表現技術を身に着けます。また、受講者の課題に対して即アドバイスをしていきます。これらを繰り返すことで、短期間でも学習の効果を得られるようにします。	
到達目標	表現技術を高め、講座での学びの効果がすぐに実感できるようにすることを目標とします。	
講義計画	第1回	呼吸、発声、発音の仕組み
	第2回	アクセント
	第3回	表現技術
	第4回	実践:原稿読み(1)
	第5回	実践:原稿読み(2)
	第6回	実践:フリートーク
講義の形式	座学（30%）と実践（70%）の混合	
講義方法	対面講座	
講義の進め方	原稿読み、フリートークといった実践が中心で、その場で各々にアドバイスをしていきます。	
教材などの追加負担	教材の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	言葉で人に伝える上で大切な要素を解説し、実践してもらい、アドバイスします。人により伝わる話し方のスキルをアップしたい人なら、どなたでも受講できます。受講者それぞれに対して、その場でアドバイスをしていきます。	
講師紹介	<p>後藤 心平（ごとう しんぺい）メディアビジネス学科 准教授 1974年 宮城県仙台市生まれ、東北大学大学院情報科学研究科 博士（情報科学） 宮崎放送にアナウンサーとして入社、30歳でフリーとなり、福岡県のcross fmでは、朝の情報番組のDJを6年担当。Jリーグの実況も担当。関西エリアでは音楽番組のDJを担当した。研究者の道へ進むことを目標に東北大学大学院情報科学研究科に入学した後は、宮城県のエフエム仙台に入社し、DJとして朝の情報番組、夕方の音楽番組などを担当。番組プロデューサー、イベントの舞台監督も務めた。2017年にはテレビ山口に入社し、夕方の報道番組のメインキャスターを務めた。2021年4月より現職。専門はメディア論、ジャーナリズム、メディア・リテラシー、地域メディア論など。現在もテレビ、ラジオへの出演、CMナレーション、イベント司会などを務める。</p>	